

## 令和 2 年度のごみ処理実績について

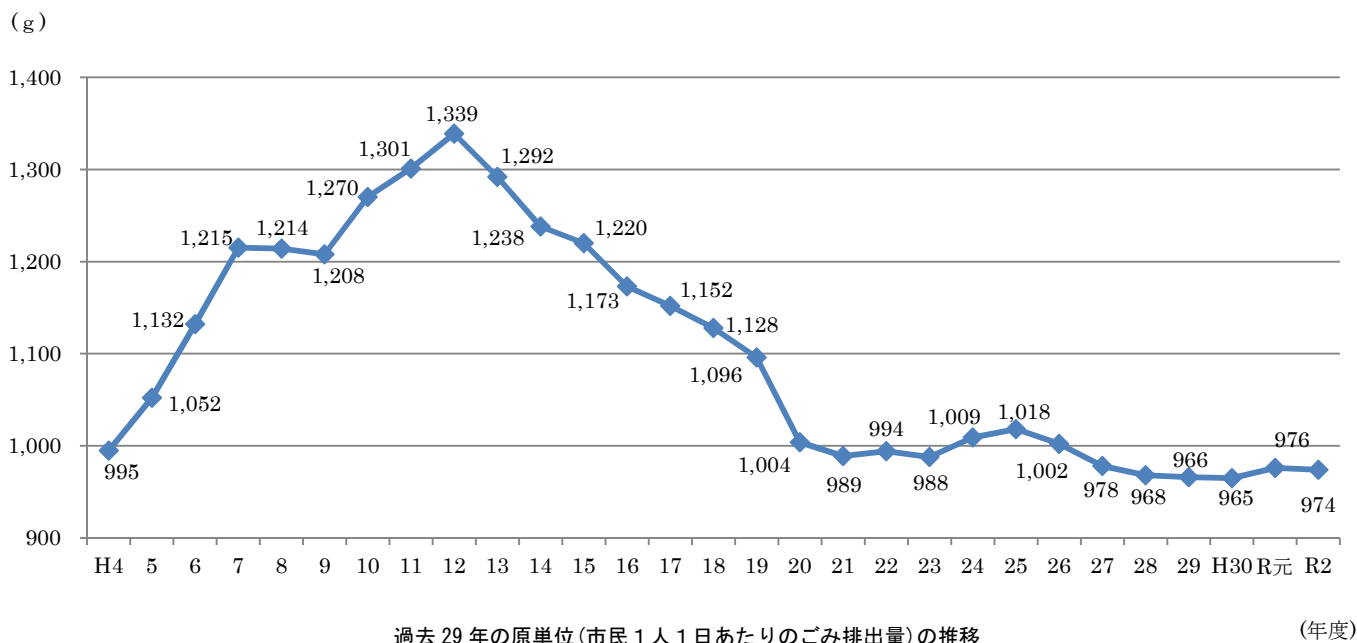
### 1. ごみ排出量等について

	排出量		再資源化量※		最終処分量	
	(t)	原単位 (g/人・日)	(t)	再資源化率 (%)	(t)	原単位 (g/人・日)
令和2年度 (A)	80,427	974	10,222 (31,245)	12.7 (30.8)	8,820	107
令和元年度 (B)	81,503	976	10,318 (29,346)	12.7 (29.0)	9,223	110
差 (A-B)	△1,076	△2	△96 (△1,899)	+0.0 (+1.8)	△403	△3

※再資源化量について、上段が行政関与分、下段（括弧書き）が行政関与分+民間主導分

### 2. ごみ排出量の推移について

市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量は、令和 2 年度は 974 g と前年度比 2 g の減となったが、この 6 年間は横ばい傾向が続いている。



### 3. 今年度の取組について

これまでの、家庭ごみの有料化（平成 13 年度）、事業系紙ごみの八戸清掃工場への搬入規制実施（平成 20 年度）等の施策によってごみの減量化を推進してきた。

今年度は、多量排出事業者との協議、エコ料理イベント、ごみの分別に係る啓発の強化などの事業を実施し、排出量の削減を図りたい。また、新型コロナウイルス感染症の動向が排出量に及ぼす影響については昨年度に引き続き注視してまいりたい。